【授業科目】科学的思考論　Scientific Thinking Theory

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
黒澤 仁	1年次 後 期	選 択	1	15	講 義			可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／2019年の冬突如人類は未曾有の感染症の脅威にさらされた。本危機はPCRによってウイルスの存在を可視化出来る状況になってから初めての感染症のパンデミックであり、今後この危機を通じて免疫と感染症の理解が膨らむであろう。本講義ではこの様な時代を意識し、ワクチンの登場から最近の抗体医薬、次世代ワクチン研究とCOVID19、そして免疫学に焦点を当て、科学的思考を出来る力を養わせる。授業の終わりに小レポートを作成させ、理解度を確かめると共に、興味深い回答や、優秀な回答に関しては次回の授業の冒頭に紹介を行う。 進め方／オンデマンド形式で行う。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートについて、添削を行い科学的思考に基づく議論対象とする。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①科学的なものの見方を身に着けることができる。 ②社会の事象について自身の考えを持つことができる。 ③物事について興味関心を持ち、適切な資料を情報収集できる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	授業計画に示した各階のテーマを、参考文献などで予習して、重点、問題点などを検討したうえで授業に臨むことを推奨する（30分）。また、関連するニュースや書籍に日ごろから関心を持ち、講義の理解に役立ててもらいたい。さらに、講義後には復習し講義内容の定着化を心掛けること（30分）。 この数年間世界中に危機をもたらし今現在もワクチンの是非等自らの環境をとりまく日々の生活に密着した問題であるコロナ問題を中心に取り上げる。よって医療関係者を志す学生諸君には積極的に関心をもって、情報収集と医療関係者としてのこの問題の自分なりの意見を持つように心がけてもらいたい。（1時間） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（１単位8回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　ガイダンス（問題意識と解決方法の提起について）　全て 黒澤 第 2 回　新型コロナウイルスはどこから来たのか？ 第 3 回　新型コロナウイルスのここまでの様相と今後の展望とその論点 第 4 回　中間レポートにあたっての作成方法の説明 第 5 回　新型コロナウイルスワクチン開発展望 第 6 回　新型コロナウイルス、新型ワクチンのまとめ ～この現象をどうとらえるか、考えてみよう～ 第 7 回　抗体を用いた研究と創薬について 第 8 回　抗体を用いた研究と創薬についてII 創薬に結びつく研究の具体的事例～あなたはどんな薬が作ってみたいですか～
評価方法 評価基準	レポート(100%)によって評価を行う
教科書	適宜資料を配布する　／　参考書等　なし
学生への メッセージ	日頃から関連事象についてニュースなど関心を持ち、自分なりの考察を加えるくせをもち、これらの活動に積極的に取り組んでください。